

東北中央自動車道を活用した 地域活性化策検討意見交換会の実施

2018年3月9日

山形工事事務所



■趣旨

開通後の東北中央道を、地域の活性化・交流人口拡大に効果的に活用するために取組むべき施策等について、地域の関係者による意見交換を行い、整備効果の拡大につなげる。

■日程

	意見交換会	報告会
上山市	平成29年1月26・27日	平成29年5月18日
南陽市	平成29年9月26日	平成29年12月20日

■参加者

- 上山市 7団体19名
商工会・観光物産協会・温泉旅館組合・観光果樹園協議会等
- 南陽市 14団体14名
商工会・観光協会・温泉旅館協同組合・ワイン組合・熊野大社等

※参加者選定、参加者への趣旨説明、日程等の調整など、上山市(観光課)・南陽市(商工観光課)に全面的にご協力いただきました。

2 実施状況

■意見交換会

地域の現状(魅力・問題点)、交流人口拡大に向けた提案、これまでの地域での取組み等について意見交換



H29.1.26(上山市)



H29.9.26(南陽市)

■報告会

意見交換会での意見を踏まえ、施策(案)を提示。他地域での取組み事例等を紹介



H29.5.18(上山市)



H29.12.20(南陽市)

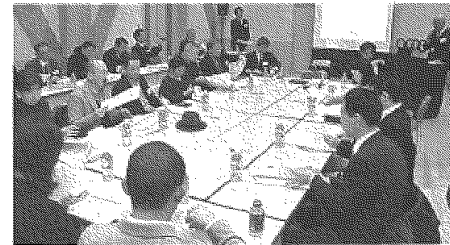
■参加者の意見から(抜粋)

- インフラができればお客さんはくる、という安易な期待は抱くべきでない。
- 高速道路がつながったら素通りされるということのないよう、開通という機会を逃さず、知恵を出し合って取り組んでいくことが必要。
- 開通は、観光ポイントが線でつながる好機。

■今後

開通PRイベント等を通じ、地域との連携・協力関係を深めていきたい。

H29.12.21付
「山形新聞」18面より



中央道で南陽活性化 ワインやバリアフリー観光

開通を見据え検討報告会

東北中央自動車道の南陽
高島・山形上山間(24・4
km)が、2018年度中
に開通見込みとなってい
るのを受け、高速道路活
用による地域活性化策の
検討報告会が20日、南陽
市のシエルターなんよう
ホール(市文化会館)で開

かれた。東日本高速道路(N
EXCO東日本)側からワ
インやバリアフリー観光
など、南陽市の魅力をア
ピールするツアーやイベ
ント企画などが提案され
た。

観光、産工関係者や市、
NEXCOの担当者が約25
人が出席した。昨秋の意
見交換会で出された意見を
基に、NEXCO側は東北
中央道を生かした地域振興
策を検討。出席者に▽市内
ワイナリー巡りと中年層向
け旅行パック▽南陽スカイ
パークを中心としたバリア
フリー観光ツアー▽熊野大
社を巡る外国人、若者向け
のツアー▽開通記念キャン
ペーン開催といったメニ
ューを示した。

フリー観光ツアー▽熊野大
社を巡る外国人、若者向け
のツアー▽開通記念キャン
ペーン開催といったメニ
ューを示した。

ワイナリーとタクシー協
会が協力した、乗り降り自
由な回遊式タクシー導入
(山梨県)や、本県の山形
・上山・天童三市連携観光
地域づくり推進協議会によ
る民間資本のDMC(デス
ティネーション・マネジメ
ント・カンパニー)設立な
ど、各地の取り組み事例も
紹介した。

意見交換では「二つ二つ
が素晴らしいメニュー」「開
通は、市内の観光名所が
「練」でつながる好機」と
いった声のほか、「伊達家
ゆかりの地である置賜をP
Rできる歴史ツアーも入れ
てほしい」という意見も出
た。市商工観光課の粟野
清課長は「提案を踏まえ、
各団体と協力しながら観光
振興と来訪者拡大に取り組
んでいきたい」と話してい
た。